

郡上おどりのメタバース化の可能性について

平田美歩^{†1}佐々木喜一郎^{†2}岐阜協立大学^{†1}岐阜協立大学^{†2}

1 はじめに

岐阜県郡上市八幡町には郡上おどりという江戸時代から続く伝統的な踊りがある。これは日本三大盆踊りのひとつと称されている。郡上おどりは毎年7月中旬から9月上旬まで約30夜にわたり開催され、特にお盆期間である8月13日から16日に行われる徹夜おどりが有名である。郡上おどりの特徴として、「見るおどり」ではなく「踊るおどり」といわれており、地元住民も観光客もひとつの輪になって踊る楽しさがあり、2023年の郡上おどり期間中はのべ30万900人程度が参加した。

一方、郡上おどり期間中に屋台に上がりお囃子を行う後継者不足が深刻な課題となっている。

また、2020年と2021年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、踊りのライブ配信のみの実施となり現地での開催は中止となった。

そこで本研究では、メタバースに対応した新たなデジタルコンテンツを制作し、貴重な資料の保存と活用を促進し、祭りの継承と活性化を目指す。

2 郡上おどりの継承者について

2.1 郡上おどりの歴史

郡上おどりのはじまりは、1627年に人心の安定や平和を願い、様々な場所で行われていた盆踊りを奨励させたといわれている。さらに、1667年に土農工商の融和を図るために盆踊りを奨励したため、踊りは盛大となり七大縁日の盆踊りが恒例となった。[1]しかし、明治期になると民族芸能は政府の欧化政策にそぐわないとして政府によって全国的に禁止された。岐阜県でも1878年に県布達によって盆踊りは全面禁止となり郡上おどりの継承が途絶えた。その後、郡上踊保存会がお座敷芸として郡上おどりをより地域的、民俗的に改作し取り入れた。これが評判を呼び、さらにお囃子と踊りが大衆受けし、大衆が踊れるように改良を重ねていった。[2]戦後は民謡ブームにより、観光客が増加した。1960年7月からは観光客

を対象に踊り免許状の交付が始まり、1973年11月には郡上おどり9種が国の選択芸能として無形文化財に指定された。また、1990年9月には米国ロサンゼルスフェスティバルに参加し、海外で初公演を行った。その後も、国内国外問わず様々な場所で郡上おどりを公演し、郡上おどりに参加する観光客も増加した。2008年には日加修好80周年イベント内にて、郡上おどり in トロントが開催され、2022年にユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、2023年8月13日には郡上おどり in トロントを再び開催した。徹夜おどり会場のお囃子や踊りをカメラで撮影し、日本時間の深夜1時から4時までトロントのホールのスクリーンに映し出した。

江戸時代から郡上八幡で踊られていた郡上おどりは、今や国内外から観光客が集まる世界の郡上おどりといえるだろう。

2.2 観光化したことによる課題

郡上おどりが観光化した結果、地元の踊り離れが起こった。1991年に郡上おどり400年祭にて行った郡上なんでもガヤガヤ会議においても、郡上おどりを踊ったことがある方は97.5%だったのに対し、昨年の踊った回数は0回が37%で一番高かった。また、郡上のおどりへの地元の参加が少なくなったと思いますか、という問いには81%の方がはいと回答した。[3]戦前には地元住民全体が関心を持ち、皆が歌い踊ることができたが、現在は郡上おどり保存会への入会者も少ない。さらに、十分に稽古を行った限られた人のみが屋台の上にあがりお囃子を行うことができるため、お囃子の後継者不足につながる恐れがある。[2][4]

2.3 郡上おどり保存会へのヒアリングによる課題抽出

郡上おどり保存会とは、1922年に伝統を受け継ぐため発足され、2022年で100周年になる。この団体が郡上おどり期間中のお囃子をすべて行う。しかし、2023年度現在、会員数は60名程度でほとんどが60代から90代である。さらに会員数は年々右肩下がりであり人数が減っているため、10年後に同じような規模で郡上おどりを開催するのは難しいのではないかと危惧されている。

また、現在障がいのある方が郡上おどりを楽しめるような具体的な方策はとられていないため、

Exploring the Potential for Metaverse Adaptation of the Gujo Odori

^{†1}MIHO HIRATA, Gifu Kyoritsu University

^{†2}KIICHIRO SASAKI, Gifu Kyoritsu University

徹夜踊り期間中など人口密度が高いときは、踊りの輪から離れたところで小さな踊りの輪を作って踊っていることがある。このことから、すべての方が気軽に輪の中に入り参加できない課題がある。

3 要件定義

これらの課題を解決するため、本研究ではメタバース空間においても郡上おどりを開催し、いつでもだれでも参加できる郡上おどりをコンセプトとした。使用機器はオキュラスクエスト 2 (VR 機器) とし、対象年齢は VR 機器の利用条件を満たすため 13 歳以上とした。開発ツールは Unity とし、徹夜踊りのメタバース空間化、郡上おどり全 10 曲の体験機能、実現することとした。

また、メタバース空間においても郡上おどりを開催についての将来性についてアンケート調査を実施し、その可能性を明らかにすることとした。

4 郡上八幡での撮影

2023 年 8 月 9 日から 16 日にメタバース空間を実装するために、360 度カメラと GoPro カメラを使用して郡上おどり会場を撮影した。360 度カメラは徹夜踊りの始めから終わりまで 1 時間ごとに撮影地点を移動し、各撮影地点を結んで四角形を描くように撮影した。GoPro カメラは胸に装着し、輪の中で踊り手振りも撮影できるように配慮しながら郡上おどり 10 曲と GJ8 マン音頭を撮影した。

なお、この撮影は郡上市役所観光課に郡上踊り会場の撮影許可の申請をし、郡上おどりの実施事業、観光客数、運営方針に関する資料の提供の協力を得た。また、郡上おどり保存会には、郡上おどりの当日の運営方法に関する情報を提供の協力を得て実施した。

5 アンケート

メタバースを利用したサービスの可能性について、郡上おどりに参加した方へアンケート調査を行った。メタバースを知っている方は 58% だったが、利用したことがある方は 15% だった。メタバース空間で郡上おどりを踊ってみたいという方は 38% である。

郡上おどりの魅力については、誰でも参加することができるかと回答した方が 88% だったが、郡上おどりに参加する時に困ったことには、気軽に会場に行くことができない、踊りの輪に入れないという意見が最も多かった。

6 考察

メタバースを利用者は少なく、浸透率の低さを感じる。しかし、メタバース利用者よりもメタバース空間で郡上おどりを踊ってみたいという回答者が上回っていた。また、郡上おどりの魅力については、誰でも気軽に踊れることが最大の魅力だとは感じているが、気軽に行けない、踊りの輪に入れないという意見が多く、魅力が発揮しきれないねじれがある。以上 2 点のことから、郡上おどりのメタバース化への一定の可能性を感じた。

7 おわりに

本研究では、郡上おどりの新たなデジタルコンテンツを制作し、貴重な資料の保存と活用を促進することで、郡上おどりの課題を解決する方策を明らかにした。一方、文化継承の面では話題性のあるデジタルコンテンツを作成したに過ぎず、ここから多数の方に興味を持って頂いて、郡上おどりを日本の文化として次世代に積極的に支えて貰う流れを作る必要がある。

今後の展望として、郡上おどりを郡上おどりの期間中に郡上おどり in メタバースを開催し、郡上八幡まで来ることが難しい方も障がいがあり現地では踊りにくい方も、現地の会場にいる人と共に郡上おどりを踊り、郡上おどりの特徴である見るおどりではなく踊るおどりを実現したい。また、ハプティックを活用することで、会場のお囃子や下駄の音や振動を会場と同じように感じるができるのではないかと期待する。さらに、メタバース空間で踊りの指導やお囃子の練習等を行うことで、志望する人が増加し、祭りの継承と活性化に繋がるのではないかと期待する。

謝辞

本研究を進めるにあたり、岐阜協立大学ソフトウェア共同研究室に所属する皆様、株式会社量子情報に所属する皆様には、多大なご協力を頂いた。ここに深謝する。

参考文献

- [1] 郡上おどり保存会、『郡上おどり』, 2022. 6. 1
- [2] 古池五十鈴『郷土文化誌 郡上Ⅱ 第六冊』, 2022. 12. 14
- [3] 郡上おどり 400 年祭実行委員会『郡上おどり 400 年祭事業報告書』, 1992. 3
- [4] 足立重和『郡上おどりの継承を考える』追手門学院大学社会学部紀要 第 9 号, 2015. 3. 30